

## 解答

一

問一

a 存在

b 最初

c 支配

d すがた

e そうとう

問二

イ

問三

ウ

問四

エ

問五

イ

問六

ア

問七

経験も知識もないありのままの姿で他人と関係を取りむすぶなかで、自分というものは確立されていくから。

問八

イ

問九

エ

二

問一

A

ア

B

イ

C

ウ

問二

ぞっとするような黒い光

問三

エ

問四

(2)

問五

1

エ

2

ウ

3

イ

問六

服やアクセサリは美しさがわかりやすく、心に響きにくいと感じるといううがい。

問七

ウ

問八

何もかもが八方ふさがりで落ち込んでしまったとき、芸術に触れることで光がさし、豊かな気持ちになるから。

問九

① 酸素

② 治〔る〕

③ 貴重

④ ゆにゆう

⑤ あやま〔ち〕

## 解説

一

問七

二つ後の段落で「経験もなく、知識もなく、ただありのままの自分を信ずることが自信だ」とあり、「その自分が他人と関係を取りむすぶなかで、自分は育っていく。」と述べられています。「さきに自分が確立して、それから関係がとりむすばれるのではない」のだから、人とかかわらないと考えるのは「まったくつまらない」と筆者は主張しています。要約して答えましょう。

二

問六

続く部分で、男子生徒は「服なんかは、どんどん売らなきゃいけないから、美しさがわかりやすいけど、芸術はわかりにくい。」「わかりにくいものが、心に響きますか」と言っていることから考えます。

問八

先生は、本文の途中で「芸術作品が人の心にもたらす最大の力」は、「何もかもが八方ふさがりで落ち込んでしまったとき、芸術が心につとわずかな光をもたらすことがあります。芸術は、：心には響く。豊かな気持ちになるんです」と発言しています。